

ふくい女性つながりサポート事業【福井県】

個別事業費	8,715 千円
交付金額	6,437 千円

地域の実情と課題

R2国勢調査

【福井県の現状】

女性の就業率	55.6%(全国2位)
女性の正規雇用率	54.6%(全国6位)
共働き率	61.2%(全国1位)

【福井県の課題】

コロナ禍を経て、家庭における女性の負担・不満が高まり、日々の生活において不安や不満を抱える女性が増加している

事業の特徴

- ・女性の悩みや不安を知る講座の開催
- ・ピアサポートサロンの実施
- ・ふくい女性活躍支援センター出張相談の実施
- ・生理用品の配布

事業の効果

ピアサポートサロンの参加者アンケートでは、「参加したあとの気持ちの変化」について、63%の人が「前向きな気持ちになった」と回答しており、女性の負担や悩みの解消に繋がっている。

【実績】

女性の悩みや不安を知る講座の参加人数	68人
ピアサポートサロンへの参加人数	513人
ピアサポートサロンの開催数	116回
ピアサポーター数	13団体・個人

目的・目標

【目的】

新型コロナウイルスの感染拡大により、悩みを抱え込んでしまっている女性や経済的に困窮する女性の孤独・孤立を防ぐ

【目標】

ピアサポートサロンへの参加人数	330人
ピアサポートサロンの開催数	78回
ピアサポーター数	11団体・個人

連携団体

(公財)ふくい女性財団

今後の課題

- ・誰にも相談できずにいる女性の不安や悩みに寄り添うことができるサロンのテーマを設定する
- ・女性が抱える悩みは、抱える当事者のみではなく、当事者を取り巻く人の正しい理解と対応が必要になることから、県内企業や団体への周知や広報強化を図る

ふくい女性つながりサポート事業

○女性の悩みや不安を知る講座の開催

悩みを抱える当事者が日常的に関わる社会環境の方々（企業・教員・学生・一般県民等）に対し、専門家や経験者による体験談を交えた講座を開催

（開催内容）

- ・摂食障害経験者の心の変化と今の想い
- ・発達障がいやアスペルガー症候群の家族・パートナーの精神的苦痛の緩和や企業（雇用者）の支援方法

（参加者）

県内企業の管理職・リーダー・人事担当者、教員など68名

○ピアサポートサロンの実施

- ・孤独を感じる女性が親しみを感じ、悩みを打ち明けやすくなるような空間をつくり、不安を抱えた女性の居場所として提供
- ・知見のある専門家等をファシリテーターとすることで、相談者に寄り添った支援ができる体制を整える
- ・コロナ禍においてもサロンが実施できるよう、オンライン設備も整備し、他人と直接会わなくとも悩みを共有



ふくいウイメンズ・オアシス

○ふくい女性活躍支援センターによる出張相談の実施

- ・遠方の地域にサテライト窓口を設置するなど、アウトリーチ型の支援に拡充
- ・就職相談、職業紹介、キャリア相談、保育所・子育て相談等に対応

○生理用品の提供

- ・ピアサポートサロン開催場所である「ふくいウイメンズ・オアシス」にて提供
- ・窓口、館内のトイレ、ホームページ等に設置されている「配布カード」を提示した女性に対し、紙袋に入れるなど中身がわからないよう配慮しながら、1人1セットを窓口の職員が対応して提供
- ・各相談窓口の案内を紙袋に同封し、身近な窓口で支援を受けられる情報や相談につながるよう努めた

【配布場所】・生活学習館2階 ふくいウイメンズ・オアシス（ピアサポートサロン開催場所）

- ・ふくい女性活躍支援センターの出張相談会場（嶺北1か所、嶺南2か所）
- ・県内子育て支援センター



生理用品配布カード